

第一薬科大学看護学部 看護学科カリキュラムマップ

看護学部設置の必要性

- ◇少子高齢化が進む都市型社会の地域医療を担う看護職への高い需要
- ◇超高齢社会において病気と共存する生活を支援するための保健医療福祉ニーズに応える地域基盤型教育の拡充の必要性
- ◇医薬品による医療事故予防や薬物療法の正しい理解の下で患者支援の能力を発揮できる看護職の必要性

養成する人材像

- ◇リーダーシップと側隠の情を持った職業人 DP1
- ◇根拠に基づいて基礎的な看護を実践する能力をもった人材 DP2
- ◇看護を必要とする多様な場での多職種や地域と連携・協働する能力をもった人材 DP3, DP4
- ◇薬剤による治療や予防を看護の視点でとらえる能力をもった人材 DP2, DP5

アドミッションポリシー

本学部の設置目的、教育理念と教育目標に共感し、次に示した3つのすべてを併せ持つ次のような学生を求めます。

看護職者への明確な目的意識をもち、看護を通して地域医療に貢献しようという意欲を持っている人

専門的知識・技術の修得に必要な基礎学力を有している人

多様な人とコミュニケーションをとることができる人

カリキュラムポリシー

(1)豊かな人間性と幅広い教養とリーダーシップ能力の素地を培うための教養・基礎分野の科目を配置する。

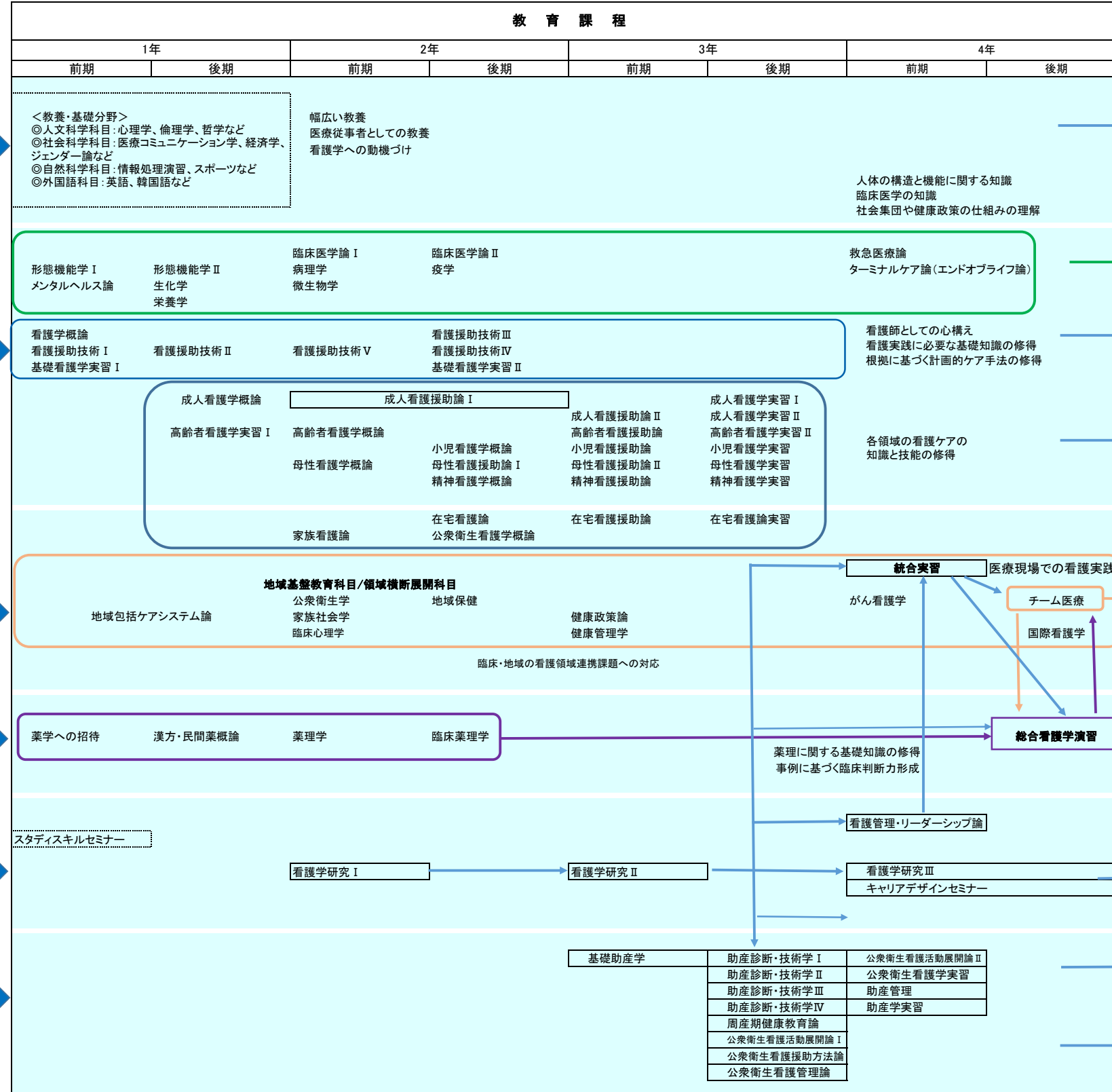
(2)看護の対象としての人間の健康と疾病を理解し、根拠に基づいた看護実践能力を育成するために専門支持分野、基礎看護学分野、専門実践分野の科目を配置する。

(3)看護専門職として多様な分野で多職種と連携協働する力を養うために、地域基盤教育科目、領域横断展開科目を配置する。

(4)看護の視点で薬物療法をとらえ専門的援助ができる能力を育成するために薬学に関する科目を配置する。

(5)将来にわたり継続的に看護を探究し、自己研鑽をしていくための基礎的能力を養うための看護統合分野の科目を配置する。

(6)保健師教育課程、助産師教育課程を履修できる選択科目を配置する。



ディプロマポリシー

看護学部は、保健・医療・福祉を取り巻く社会情勢に対応し、看護専門職者として人々の健康を支援するために、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修めた者に対し学士(看護学)の学位を授与する。

【DP1】
<知識・態度>
幅広い教養と看護の専門的知識を基盤に看護の責任と役割および自律性を認識し、看護職者として職業倫理に基づく良識ある看護を実践することができる。

【DP2】
<技能>
あらゆる健康レベルの看護対象を理解し、薬物療法に関する正しい知識を用いて、科学的根拠に基づく基礎的な看護を実践することができる。

【DP3】
<保健医療福祉活動>
多様な看護の場において多職種と連携・協働し、地域の保健・医療・福祉の課題に貢献することができる。

【DP4】
<調整力>
看護の専門性と役割を認識した調整力を発揮するためのリーダー的能力の素地を身に付けている。

【DP5】
<自己研鑽>
専門職業人として、医療の進歩や社会の動向を踏まえ、看護実践能力向上のために継続的に研鑽する基礎的能力を身に付けている。

想定される進路・就職先

【国家試験受験資格】
・看護師
・保健師(選択者のみ)
・助産師(選択者のみ)

【看護師】
・病院
・介護福祉施設
・訪問看護ステーション
・行政機関
・大学院進学など

【保健師】
・保健所
・行政機関
・企業
・病院
・介護福祉施設
・訪問看護ステーション
・大学院進学など

【助産師】
・病院
・助産所
・介護福祉施設
・訪問看護ステーション
・行政機関
・大学院進学など